

平成23年度上半期 業績のご報告

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

「生きる」を創る。

Afflac



お客様の“生きる”を応援する

アフラック。

これからもお客様に変わらぬ

安心をお届けします。

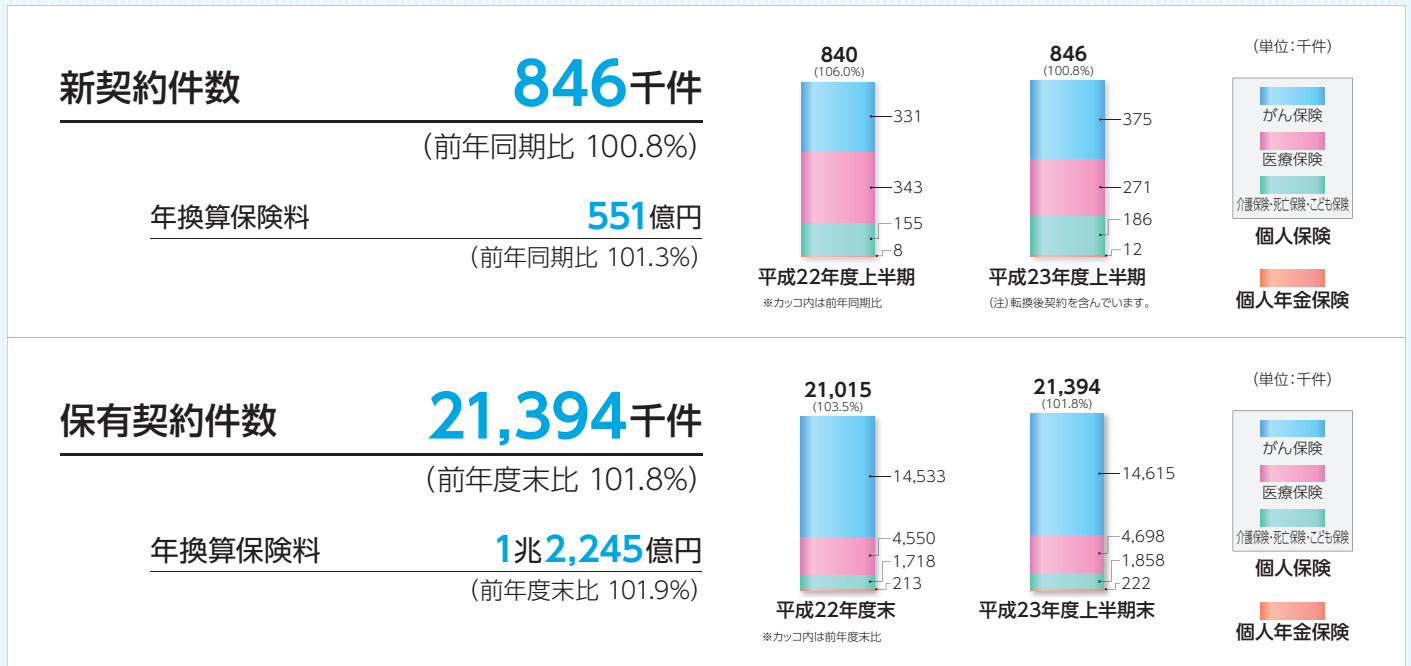
平成23年度上半期 業績のご報告

平成23年4月1日～平成23年9月30日

※「前年同期」は平成22年4月1日～9月30日、「前年度末」は平成23年3月末を表しています。

契約の状況

新契約件数は前年同期比0.8%増、保有契約件数は前年度末比1.8%増となりました。

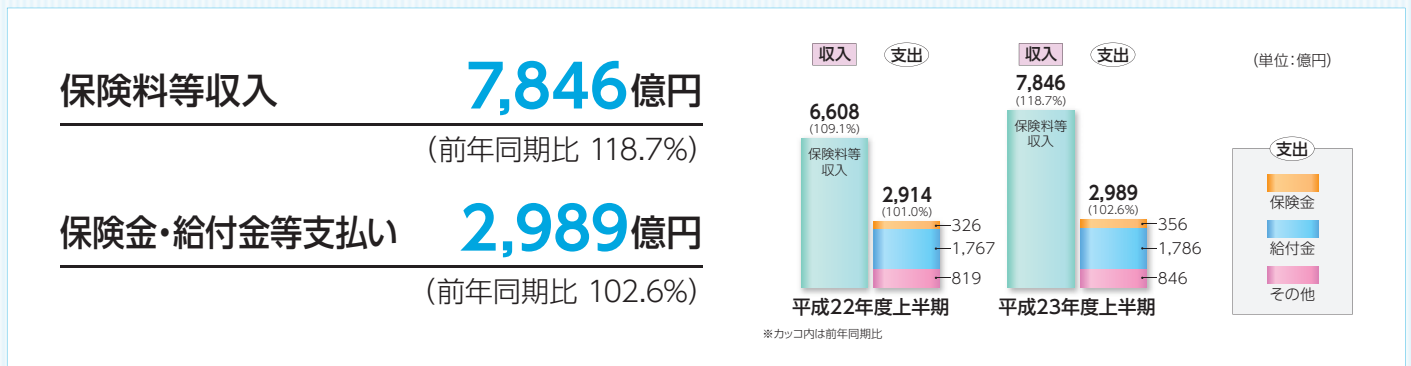


※上記数値は、個人保険・個人年金保険の合計です。

※年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)であり、契約規模を保険料収入の面から測る指標のひとつです。

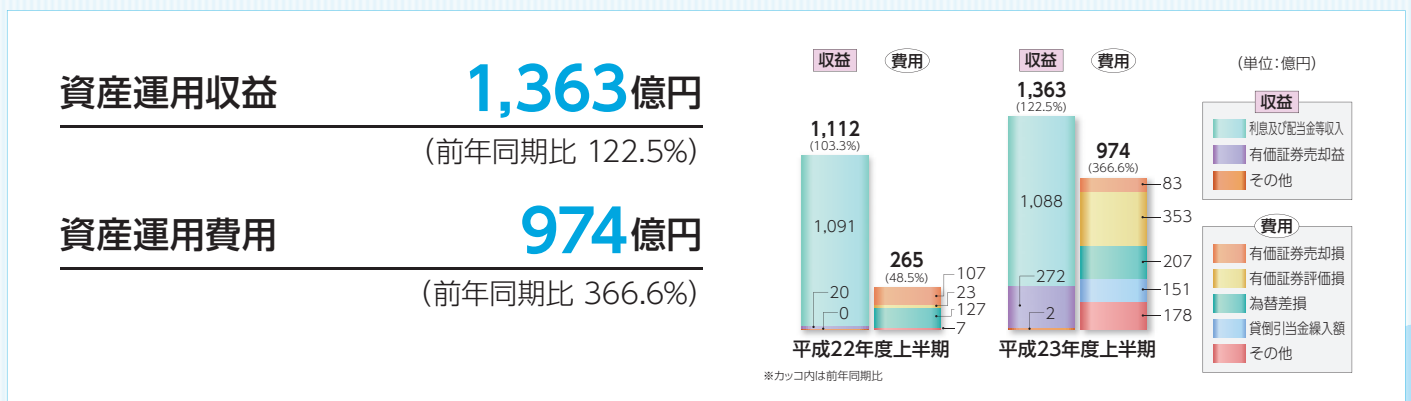
保険関係収支の状況

保険料等収入は前年同期比18.7%増、保険金・給付金等支払いは同2.6%増となりました。



資産運用関係収支の状況

資産運用収益は前年同期比22.5%増、資産運用費用は同266.6%増となりました。



利益の状況

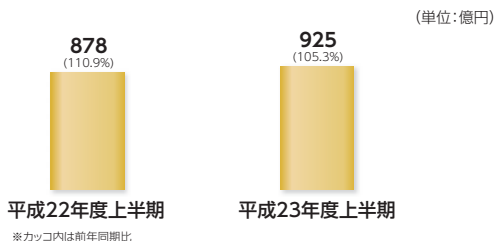
基礎利益は前年同期比5.3%増、最終損益は資産運用費用の増加を受け、前年同期比61.9%減となりました。

基礎利益

925億円

(前年同期比 105.3%)

基礎利益とは 保険会社のフロー収益力を示す指標で、保険本業の期間損益の状況を表わしています。保険料等収入、利息及び配当金等収入などからなる「基礎収益」から、保険金等支払金、事業費などからなる「基礎費用」を差し引いて算出されます。

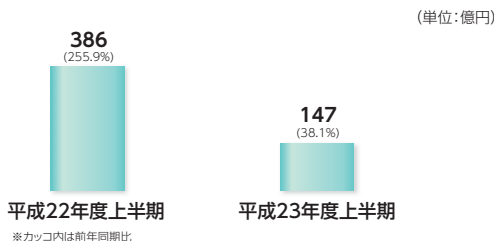


最終損益 (中間純利益)

147億円

(前年同期比 38.1%)

最終損益は、基礎利益から、資産運用費用、税金等費用を差し引いて算出されます。



資産の状況

総資産は前年度末比6.2%増となりました。

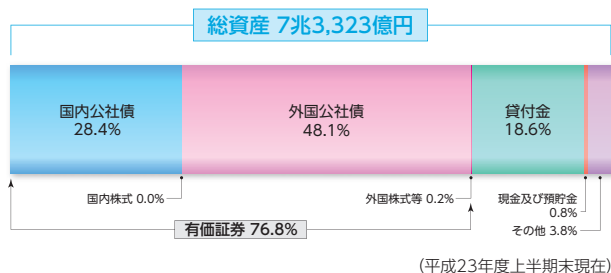
総資産

7兆3,323億円

(前年度末比 106.2%)

◆ 国内外の株式の保有割合は0.1%未満であり、株価の変動に左右されません。

貸付金について 生命保険会社は資産運用の一環として、企業などに貸付を行い利息を得ています。長期(貸付期間が10年を超える)にわたるものが大部分を占め、有価証券と並ぶ資産運用の柱となっています。



健全性の状況

安定した支払余力と高い格付けを維持しています。

ソルベンシー・マージン比率

1,010.5%

※同指標が200%を下回った場合、監督当局による業務改善命令等の対象になります。

参考: 新基準によるソルベンシー・マージン比率

566.9%

ムーディーズ

Aa3※ (保険財務格付け)

※米国本社を含むアフラック全社の格付け

スタンダード&プアーズ

AA-※ (保険財務力格付け)

※アフラック日本社に対する格付け

(注) 1. 保険財務力の格付けは、保険会社の保険金支払いの能力に関する格付会社の意見を表しています。
2. 格付けは現在の情報に基づいており、将来的には変化する可能性があります。

(平成23年11月現在)

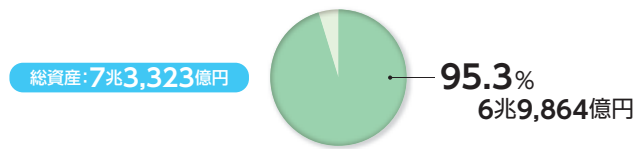
※本資料における計数(%数値を除く)は、単位未満を切り捨てて表示しています。このため、各内訳の数値の積算と合計値は必ずしも一致しません。

業績の詳細は、当社オフィシャルホームページ <http://www.aflac.co.jp/> をご参照ください。

資産運用について

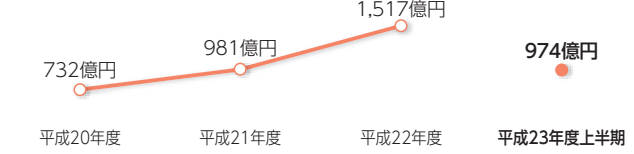
当社はお客様への将来の保険金・給付金のお支払いに備え、お預かりした保険料を安全かつ確実に運用すべく公社債や貸付金などの円建て長期確定利付資産を運用資産の中核としています。また、生命保険商品の長期にわたる負債特性に見合ったポートフォリオの構築を通じて長期安定的な投資収益の確保に努めています。平成23年度上半期末の公社債・一般貸付金など運用資産残高は6兆9,864億円であり、総資産7兆3,323億円の95.3%となっています。

■ 総資産に占める公社債・一般貸付金の残高 (平成23年度上半期末)



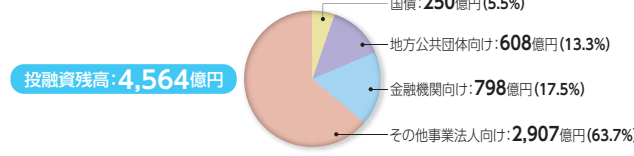
投融資対象は、国際分散投資の観点から、日本を含むアジア、米国、欧州など信用力の高い国や地方公共団体、企業などが中心ですが、平成20年以降の世界的な金融危機を受けて、信用状況が懸念される投融資先についての売却や減損処理を行った結果、資産運用費用が増加しています。

■ 資産運用費用の推移(総額)



昨年以降の欧州危機によってソブリンリスクが高まっている欧州5カ国(ギリシャ、アイルランド、イタリア、ポルトガル、スペイン)向けの平成23年度上半期末における投融資残高は、4,564億円と有価証券・一般貸付金残高の6.5%となっています。その内訳は、国債が250億円、地方公共団体向けが608億円、金融機関向けが798億円、残る2,907億円がその他事業法人向けとなっています。

■ 欧州5カ国向け投融資残高

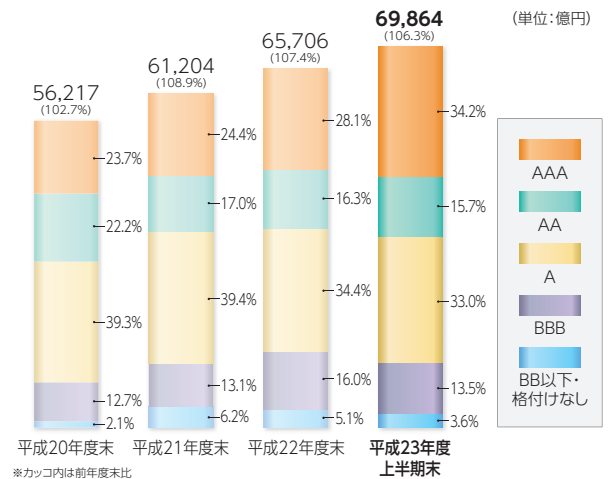


当社としては、市場の状況や保有先の信用状況のモニタリングを今後も継続的に注意深く行い、必要な状況となった場合は売却や減損など適時適切に処理していく予定です。最終的に、ご契約者の皆さまの長期にわたる生命保険契約をお守りし、将来のお支払いをより確実なものにすべく、財務健全性維持に向けて引き続き資産運用リスク管理の態勢強化に取り組んでまいります。

保有資産の状況

当社は円建て長期確定利付資産を運用の中核とし、投資の実行に際しては十分な信用リスク調査を行っています。その結果、運用資産残高6兆9,864億円の82.9%は外部格付けで“A”格以上、96.4%は投資適格とされる“BBB”格以上となっています。

■ 投融資の信用格付別残高



- (注) 1. ムーディーズ、スタンダード&プアーズ、格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)、フィッチ及び全米保険監督官協会(NAIC)の格付けに基づき分類しています。
 2. 発行体、与信先、保証人等が複数の格付会社から異なる格付けを受けている場合には、上位ランクに該当するものとして取り扱っています。
 3. NAICの格付けは、
 “1”: A以上(便宜上Aとして区分)
 “2”: BBB相当
 “3以下”: BB以下
 として区分されています。
 4. 企業会計基準適用指針12号[その他の複合金融商品に関する会計処理]に従い区分処理をしているシンセティックCDOについては、担保債の時価から金融派生商品負債の金額を差し引いた金額を表示しています。

また、当社は国際分散投資の観点から各国の公社債や貸付金に投融資しています。投融資先上位10位は以下のとおりです。

順位	投融資先	貸借対照表計上額	構成比
1	日本国債	19,138	27.4
2	米国国債	1,329	1.9
3	イスラエル電力公社	685	1.0
4	HSBCホールディングス	663	1.0
5	チュニジア国債	642	0.9
6	南アフリカ国債	600	0.9
7	みずほフィナンシャルグループ	469	0.7
8	クレディ・スイス・グループ	455	0.7
9	BNPパリバ	450	0.6
9	バンク・オブ・アメリカ	450	0.6

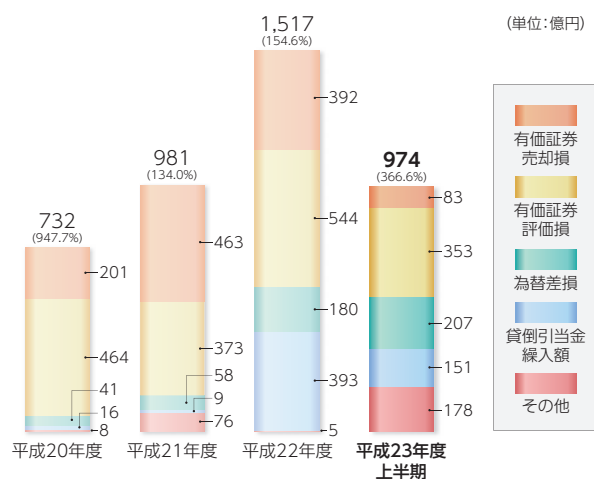
※構成比は有価証券・一般貸付金残高に占める割合です。(平成23年9月末現在)

信用状況に懸念のある資産の売却と減損処理等の状況

平成20年以降の世界的な金融危機、また、平成22年以降の欧州債務危機の影響を受けて、信用状況に懸念のある資産などの売却や減損処理(個別貸倒引当金繰入やその他運用費用の計上を含む)に継続的に取り組んでいます。具体的には、信用状況が懸念される欧州の金融機関向け投融資を中心に売却、減損処理を行うと共に一与信先当たりの保有額が多い資産について一部売却を行いました。その結果、これらの取り組みを含めた資産運用費用合計は、平成22年度についてはギリシャ・アイルランドを中心に1,517億円、平成23年度上半期においてはポルトガルを中心に974億円を計上しました。これにより、平成20年度以降、平成23年度上半期までに計上した累計の資産運用費用は4,206億円となりました。

当上半期における主な売却銘柄には、ポルトガルの金融機関であるエスピリト・サント銀行、カイシャ・ジェラル・デ・デポジトスおよびBPI銀行が含まれており、主な減損処理にはベルギーの金融機関であるデクシア、オーストリアの金融機関であるBAWAGキャピタル・ファイナンス・ジャージーおよびヒポ・フォアアールベルク・キャピタル・ファイナンスが含まれています。

■ 資産運用費用の推移(内訳)



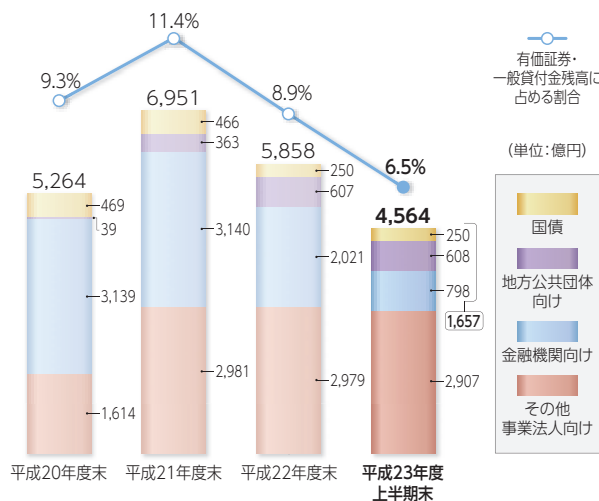
※カッコ内は前年度比
ただし、平成23年度上半期については前年同期比

欧州5カ国に対する投融資

平成23年度上半期末での欧州5カ国向けの投融資残高は、最も多かった平成21年度末から2,387億円減少し4,564億円となりました。これは、金融機関向けなど信用状況に懸念のある資産の売却および減損処理を進めたことによります。また、投融資残高合計4,564億円のうち、ソブリンリスクとの関連性が強い国債・地方公共団体向け・金融機関向けの残高は、最も多かった平成21年度末から2,312億円減少し1,657億円となりました。

※投資に際しては保全面に留意しており、平成23年度上半期末における投融資残高(4,564億円)のうち1,820億円については、格付けが投資適格未満になった場合に期限前償還(弁済)させることができるプットオプションや、債務者の経営状況や指標などが一定条件に該当した場合に債務者が期限の利益を失い、一括返済の義務を負う契約上の財務制限条項が付されています。

■ 欧州5カ国向け投融資残高の推移



欧州5カ国のソブリン(国債・地方公共団体向け)・金融機関向けの投融資先一覧は以下のとおりです。

国	投融資先	証券区分	借対照表計上額 (単位: 億円)	
			債券	貸付
ギリシャ	ソブリン・金融機関向けの投融資はありません			
	デプファ銀行	債券	200	
アイルランド	アイルランド銀行	債券	76	
	合計		276	
イタリア	イタリア国債	債券	250	
	インテザ・サンパオロ	債券	150	
合計			400	
ポルトガル	ソブリン・金融機関向けの投融資はありません			
	アンダルシア州債	債券	328	
	ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行保証債	債券	221	
	カタルーニャ州債	債券	180	
	バンキア保証債	債券	150	
カスティージャ・ラ・マンチャ州債	債券	100		
合計			980	
総合計			1,657	

(平成23年9月末現在)



本誌は、FSC®認証紙を使用し、環境に配慮した植物油インキを使用しています。



チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。25

温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

アフラックオフィシャルホームページ
<http://www.aflac.co.jp/>

アフラック

検索



Aflac アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル ☎ 0120-5555-95